

第62回全学実行委員会議事録（令和2年11月27日）

注意事項

- ・ 表示名は『団体名_氏名』にしてください。(個人の場合は氏名のみで構いません。)
- ・ レジユメは公式webサイト(<https://nf.la>)にて掲載しております。ユーザー名及びパスワードはDMもしくはメールでお伝えした通りです。
- ・ ミーティング/議事録のURL及びパスワード、レジユメ掲載ページのユーザー名及びパスワードを拡散したり、他者に教えたりしないでください。
- ・ 発言時以外はミュートにしてください。
- ・ 発言する際には「手を挙げる」機能を使用してください。ホストがミュートを解除することで指名します。
- ・ 議事録の都合上、発言時にはまず氏名を述べるようお願いいたします。匿名性を保つために保存時にはアルファベットに書き換えます。
- ・ 荒らし行為や妨害行為が確認された場合、強制退場等の措置をとることがあります。
- ・ 会議の録画、録音は禁止です。
- ・ 会議の最長終了時刻は22:00です。
- ・ 採決には「手を挙げる」機能を使用します。
- ・ 離席者のために全会一致が得られない場合、反応が確認できなければ全会一致とみなします。但し、その後離席者からの異論があれば受け付けるものとします。

長：全学実行委員長

事：11月祭事務局

長：始めます。(諸注意読み上げ) 議事案について話し合います。

事：提案のレジユメを見てください。一番に異議等あるか。

長：承認の場合は挙手を。(承認) 事務局の承認に移る。

事：一回生が入局したので承認を取りたい。氏名を読み上げます。(一回生の氏名と学部読み上げ) 以上32名。

長：今年度の事務局員として承認をとる。(承認) 第62回11月祭本部事務局は結成された。提案に移る。

事：レジュメ2番をご覧ください。(読み上げ) 以上。今回承認を貰いたいのは(2)提案の部分。今年度の方針について承認を貰いたい。具体的なガイドライン等は後日提案する予定。

長：意義質問等あるか。

R：提案の期日に関して。三月の月末四日間を設定しているが翌月応援団による紅薔祭がある。これとの衝突などは考えているか。

事：応援団さんに関して結論は出ていないが担当が現在も、これからも連携と交渉を行っていく。

R：万が一こうほうさいが四月末などになってしまうとNFと近いのでこれは各出展団体のリソースが割かれてしまって、各団体に必要以上に負担となってしまう。できれば紅薔祭とNFを融合する形でしてほしい。可能であれば。理念が別なのはわかるので相容れないならしょうがないが、調整できるなら調整してほしい。新歓にNFを用いていいかなども打診してくれると助かる。

事：補足に書いてあるが、基本的にZoomなどの中継配信ではなく三月に動画を撮影し当日に流すという形にする。時期が近いのはそうだが、そこまで衝突は起こらないかなという認識。もちろん応援団さんと衝突がないよう交渉を行っていく。

Q：質問が二つ。①オンライン開催をメインで出来れば対面ということだが、媒体等具体的に決まる日時はあるか。②主に3月頭半ばに動画などをとってNFで放送ということだが、直接時間を取って交流企画以外で生放送等してもいいか。

事：①に関して、媒体は殆ど検討がすんでいて、生放送はZoom、動画を流すのはYoutube、その他企画さん独自にして貰ったもののリンクを張るなども可能。②オンライン交流企画だったり、オンライン展示企画、本部講演企画の質疑応答などの交流が必要なものは生放送をしていただいても構わない。他の企画種別でもZoomリンクを企画さんに準備していた

だきこちらのサイトに貼ってもよい。質問の生放送もオンライン交流企画として企画申請しても構わない。

○：3つ前回の確認がある。①11月までに用意するとは言っていたがもう少し早く用意してほしい。②延期開催に関しては感染拡大状況に対する基準をきめてそれに基づいて判断すると言っていたが判断基準を示してほしい。③ガイドラインを1月までに決議することの確認。よろしくお願いします。

事：①に関して、いろんな案を検討していたので遅くなってしまった。申し訳ない。②、今回の決定の判断基準を示せということか。③、この提案が通り次第具体的なガイドラインを作成する。1月末あたりまでには提案しようと思う。

○：前回決議の内容を見ると、延期開催を決定するなら...ちょっと誤解があった。今後判断基準を作成し、それに基づいて判断をする予定があるか、という質問に変える。

事：判断基準の作成が必要なのは対面開催を決定する際だと考えている。

○：対面開催を同時開催するときには判断基準を作成するということ？前回の確認は引き継がれているのか。

事：そうです。間違いはないです。

○：ありがとうございます。確認できました。

M：2点質問がある。①補足(3)において、対面の開催を検討する企画もあるということだがそれは例年開催している企画、とくに今回開催しないもの全てについて開催を検討することか。②対面での開催ができるタイミングにもよるが学生団体が申込みする際はどのような申し込み形式(オンライン、対面など)になるのかの詳細を知りたい。

事：①、そのとおりです。屋内、ステージなど従来の企画形態それぞれに関して検討を進めている。②、現在検討中なので詳細は承認が取れ次第広報するが現段階では基本的にはオンライン企画の募集をするつもり。そのときNFの対面開催も可能性があれば同時に対面を希望するか聞いて、対面開催となったら対面となる。

M：追加で質問です。オンライン企画として募集しているオンラインショップについて、こういった形式となるか。事務局で物品を預かって、事務局から発送するのか。事務局は単なる窓口となって各団体から通販となるのか。

事：詳細を確認しているので少々お待ちください。オンラインショップに関して、事務局としてはサイトを作成しサイト上で企画さんが販売したい商品の画像や情報を載せる。発送自体は企画さんに行ってもらおうことを考えている。

M：ありがとうございます。

A：オンラインライブハウスやステージなど、コピーバンドがある。そういったものはYoutubeなどインターネットにアップロードすることになると思うが、その場合は著作権など例年と変わってくるところをまとめてくれると助かる。企画申請までに整理してほしい。

事：実際企画の形態はかなり変わるので違い等は後日まとめてWeb等で公開する。

R：Webでの企画に関しては素人意見かもしれないが、オンラインでショップを開くと。nf.laはhttpなはず。となると、購入者の情報や販売者の情報を一括管理する際のセキュリティリスクなどもあると思う。httpsに変えただけではそうは問屋が卸さなかったかもしれない。大学のある意味公式祭典ならそこら辺の用意もして欲しい(しているはず)。大丈夫なのかを知りたい。

事：ちなみにですけど、うちのWebはhttpsです。オンラインショップに関して、ここに作るのではなくプラットフォームを提供しているサービスを利用するので個人情報等に関しては確認はするが基本的には問題はないと考えている。

R：httpsでしたね、申し訳ない。委託する民間のプラットフォームは目星は付けているか。

事：実際に使用するサイトの目星はいくつかあり、いま一つに絞ろうと検討している。

R：厚かましい質問をする。候補はどんなもんですか。

事：BASE、storesのふたつに絞ってある。

R：勉強になりました。

長：承認に移る。議事(2)提案について賛成の方。(承認) 議事(3)に関して。

事：統一テーマ公選に関して。(読み上げ) 以上。

O：一点。得票数は発表されるか。順位など。公開開票会と同じデータを公開するか。

事：公開開票会での開示と同じデータを発表するつもり。

M：2段階から1段階に変えたことについて。二段階目の決戦投票のタイミングでNFの11月開催がなければ破棄というのも発表していたのでそれが原因で総得票数が減ったのでは。

事：その可能性は否めない。来年以降はもう一度見直すが、現段階では3月末まで時間がないのでできれば1回の投票でいきたい。

長：承認に移る。(承認) その他の質問等あるか。

A：さっきの承認で3月末NFがハイブリッドで決まったが、何回全学実して、いつ企画登録会して、いつ動画を収録して、などのロードマップは決まっているか。

事：企画関係はほとんど見当が住んでいて、後日Web当で広報する。全学実に関しえt、いつ開催するかは具体的には考えていないがガイドライン等の提案も含めて検討する。

A：企画登録会の日程だけでも知りたい。中止判断などもあると思うが、予算策定や禁酒の話など、少なくとも来年話そうくらいの話も必要かと思う。そういったことも全学実でしたい。

事：企画登録会は2月の二週目、法学部のテスト終了時期あたりを検討している。予算は必ずどこかで提起する。禁酒の話に関してはオンラインのみの場合は大学場で行わないので飲酒禁止の話は必要ないと考えてるが対面開催が決定した場合はお酒の話はする。

A：次の全学実にはガイドラインを策定して、その次の議題として禁酒の話をする必要があるのでは？対面できないならハイブリットじゃなくていいじゃないですか。対面は基本的にはするんですよね？

事：私どもの提案とAさんの認識は異なっている。提案は1～4の提案のうち3と4の間。基本軸はオンライン企画を開催して、対面企画に関してはできるか全く見通しがつかないのでギリギリまで対面開催を探るという提案である。

O：探る探らないじゃなくて基準を決めて京都府の制限レベルをもとにして3ならする4ならしない、感染者が10人いたらないなどの客観的基準を定めるということでしたよね？

事：対面開催ができるかできないかわからないのはコロナ関係だけでなく大学から施設等を借用できるか否か。その線での可能性を探っているところが強い。

A：対面開催を阻む障壁は当局からの借用だけということか。なら、対面前提でガイドラインしてお酒の話してって感じでいいのではないか。

O：前回議事を見直しているが3月は休校日かつ当局との交渉中で否定的態度ではないと書いてあるが当局の態度が変化したのか。

事：Oさんに対して、前回全学実ではそうだったが交渉を重ねたら課外だけの問題ではなくいろんな部署で難しいという意見が返ってきたためこのような状況。Aさんに対して、それを踏まえると対面開催が厳しいのでそのような状況でガイドラインを作成しようにも作成できない。基本的にはオンライン企画を中心として、対面はギリギリまで粘って模索する事しかできないと考えている。

A：対面だったら可能性を探るのが希望寄りというよりは行けたら行くといった感じか。了解した。それだと個人的に感染対策の基準を決めたりお酒の話したりとかもあると思うが対面でなくていいのでは。対面がなくなるよといった話はいつ決まるか。

O：当局の使わせられないという意見に合理性があればいい。客観的根拠がないのに使わせられないというのはおかしい。全学実と当局で客観的にできる出来ないのラインを話し合っ

てくれればいい。当局にどういう状況ならできてどういう状況ならできないのか話してほしい。話しているのか。それをもとに開催可否を考えればいいと思う。

事：実務も含めて2月中旬が一番遅い判断次期。それまでは大学と交渉を続けていく。当局の主張の最たるものは大学入試。前回では入試の追試が決定されていなかったが追試決定に関して入試期間が長引き大量の人間を校内にいたくないということ。

A：二月中旬は遅い。個人的には対面ができるかは一月末かなと思っていた。それまでのロードマップが決まってないと二月からだの実務が厳しいのでは。今しっかり決まっていなかったら対面はしなくてもいいと思う。二月中旬までかかってもいいなら交渉を頑張してほしい。

O：追試っていつあるんですか。前後なんにち使えないんですか。そこでできないなら紅萌祭もできないのでは。

事：Aさんに対して、なるべく多くの選択肢を残すため2月中旬を一番遅い時期として考えているが、もちろん実務的には一月中旬あたりがベスト。Oさんに対して、25日に合格発表なのでそこまでは借用できないと言われている。

O：三月に決めたときは追試があるなんて決まっていなかったし行けると思ったが追試が決まっちゃって無理になりましたということか。またそれなら四月、紅萌祭と融合などしてもいいのではないかと。年度をまたぐとやりづらいと思うが。

事：レジユメには四月開催の場合のデメリットも書いてあるが、予算の問題もある。来年度のNFの予算から出てしまう。今年度のNFの予算は繰り越せないで63回NFの予算が圧迫されてしまう。これで3月末にしている。予算というのは大学からの援助金の意味。

O：25に合格発表、それ以降いつから使えるか。規模縮小ならラスト一日二日など3/30,31などの交渉を期待している。

長：その他質問等あるか。議事録承認に移る。(承認) 全体通して何かあるか。終わり。お疲れさまでした。